居合道市民教室に参加しました　（京剣連事務局員　上野律子）

令和２年７月 27 日～9 月７日（Ⅱ期全６回）　毎週月曜 10 時～12 時

武道センター　武徳殿・主競技場

主催　京都府剣道連盟（京都市剣道協会）　　共催　京都市スポーツ協会

講師　菅原　久　範士八段　　指導者　常心会の皆さま　　今回の受講生　１３名

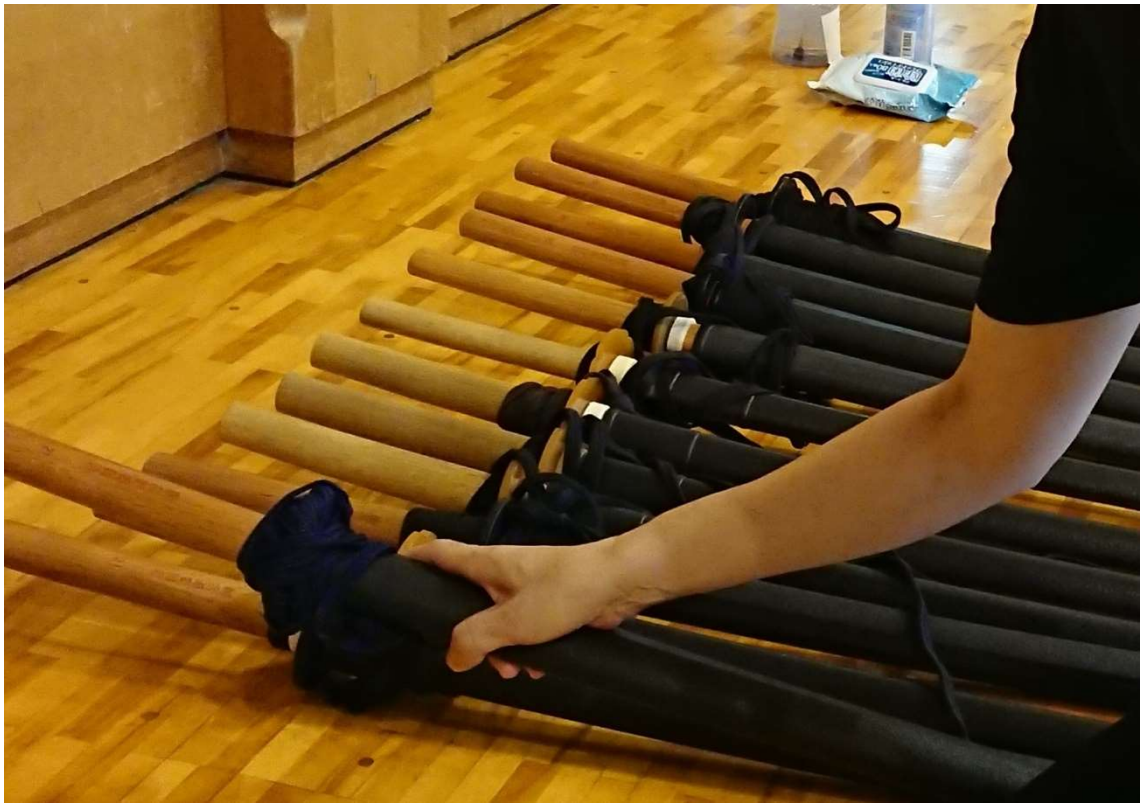
夏の真っ盛り、武道の聖地「武徳殿」で、居合道市民教室が始まりました。

武徳殿は、窓（蔀戸）や扉を全開にすると風が抜けて涼しい感じがします。

いつも、係の皆さんが早くから準備に来られ、徹底したコロナ対策をして下さいました。

講習会初日、講師の菅原先生から、居合道や武徳殿についてのお話の後、真剣での凛とした模範演武を見せていただきました。やる気に火が着きました。

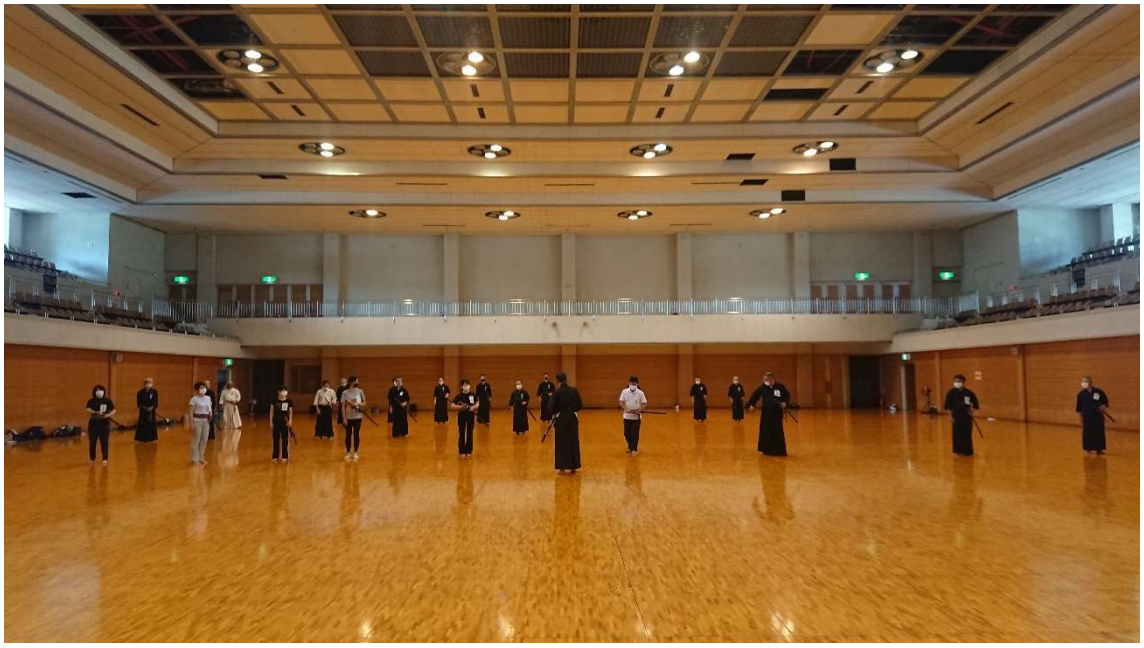
まず始めに、刀を差す帯を巻きました。きつく巻くと苦しく、ゆるいと刀が落ちそうになってきて、指導員の方が何度も結び直して下さいました。



初めての私達は、真剣ではなく、鞘（さや）付きの木剣で稽古をします。

刀を振る前に、礼法・作法を習います。刀に礼をする「刀礼」をし、それから刀を帯に差して、「下げ緒」を結びます。

数名ずつに分かれて技の稽古です。見ていた時よりも想像以上に難しく、何度も何度も繰り返して教えていただきました。



毎回最後に、みんな揃ってその日習った技を菅原先生に見ていただきます。

毎回夢中であっという間に最終日となりました。
最終日の記念写真です。後列左から３人目が菅原久先生：範士八段です。
この教室で、全日本剣道連盟居合一本目から六本目までを習いました。
居合道は大変奥が深く、真剣が使えるようにもっと続けて勉強したくなりました。
菅原先生をはじめ指導者の皆さま、本当にありがとうございました。